

2024年8月9日17時発表・即情報公開可

報道関係 文化・音楽ご担当者

音楽ジャーナリスト／関係者 各位

東京交響楽団 次期音楽監督にロレンツォ・ヴィオッティが就任 2026年から3年間の任期

公益財団法人東京交響楽団（本部：東京都新宿区 理事長：岡崎哲也）は、本日、ロレンツォ・ヴィオッティ氏を第4代音楽監督として迎えることを発表いたします。任期は2026年4月から3年間。1シーズンに8週間、東京交響楽団を指揮します。

1990年スイス・ローザンヌ出身、現在34歳のヴィオッティ氏は、オランダ国立歌劇場及びネーデルラントフィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。すでにベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、シュターツカペレ・ドレスデン、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管等、世界屈指のオーケストラを定期的に指揮しており、2024年6月には、ウィーン・フィルとのドイツ・スイス・スペインツアーを率いました。オペラにおいてもオランダ国立歌劇場のほか、2024年2月にはスカラ座でダニエレ・アバド演出によるヴェルディ『シモン・ボッカネグラ』（新演出）、2024年4月にはチューリッヒ歌劇場でのカールマン『チャールダーシュの女王』を指揮。いまヨーロッパの名門オーケストラ、歌劇場から引く手あまたの存在です。

ヴィオッティ氏の東京交響楽団デビューは、2014年7月東京オペラシティシリーズ。スメタナ「我が祖国より“ヴルタヴァ（モルダウ）”」、ドヴォルザーク「チェロ協奏曲（チェロ：ダーヴィド・ゲリングス）」、チャイコフスキー「交響曲第4番」を指揮しました。これが日本デビューのみならず、自身のプロオーケストラデビューで、且つ代役としての出演であるなか多様な音楽性を見せ、以来、2016年、2019年（2回）、2023年と計5回共演。初共演から10年の節目となる2024年、当団音楽監督へ迎えるはこびとなりました。

ロレンツォ・ヴィオッティ氏

「日本の“文化を尊重する姿勢”は素晴らしいと常に感じています。14年前、打楽器奏者として初めて来日し、音楽大学で日本の演奏家の皆さんのプロフェッショナルリズムに触れたときから、私はすぐにこの文化に魅了されました。東京交響楽団は、私が指揮者のキャリアをスタートさせた場所です。プロオーケストラでの経験がなかった私を、メンバーの皆さんに大変あたたかく迎えていただいたことをしっかりと覚えています。あれから幾度と共演しましたが、彼らの芸術に対する忠誠心、愛情、情熱は、何年経っても変わりません。日本におけるクラシック音楽は重要な文化的支柱であり、その継続に貢献できることを大変光栄に思います。東京交響楽団の素晴らしい音楽家たちと日本の聴衆の皆様、この芸術への情熱を分かち合えることを楽しみにしています。」

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

公益財団法人東京交響楽団 理事長 岡崎哲也

「私ども東京交響楽団は、2026/27 シーズンから新しい音楽監督にロレンツォ・ヴィオッティ氏を迎えることとなりました。ヴィオッティ氏とはすでに何度か共演しておりますが、繊細で柔らかい感性と意欲的なダイナミズムを併せもつ今年 34 歳の俊英でございます。必ずや新しい音楽の扉を開いてくれるものと期待しております。音楽を愛する皆さま、是非、ご注目頂きますようお願い申し上げます。」

公益財団法人東京交響楽団 専務理事・楽団長 廣岡克隆

「東京交響楽団で指揮者デビューして 10 年、ヨーロッパを席卷する目覚ましい活躍を見せているロレンツォ・ヴィオッティ氏を 2026/27 シーズンより新音楽監督としてお迎えする事をご報告いたします。オペラを含めた豊富なレパートリーと多彩な音楽性で、日本の音楽界に新しい風を吹き込んでくれる事を確信しております。進化を続ける東京交響楽団にどうぞご期待ください。」

プロフィール

ロレンツォ・ヴィオッティ / Lorenzo VIOTTI

東京交響楽団 次期音楽監督

ロレンツォ・ヴィオッティは 2026 年 4 月から 3 年間の任期で東京交響楽団第 4 代音楽監督に就任する。

同世代の指揮者のなかで最もダイナミックな活動が注目されている指揮者。現在、オランダ国立歌劇場及びネーデルラントフィルハーモニー管弦楽団首席指揮者を務める。2023/24 年シーズンは、プッチーニ 3 部作（新演出）の上演や、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とのドイツ、スイス、スペイン・ツアー、オランダ・フィルハーモニー管弦楽団とのドイツ、ベルギー・ツアーのほか、オランダ国立歌劇場で『ローエンングリン』を指揮し、ワーグナー作品に初めて取り組んだ。2024 年 2 月にはスカラ座でダニエレ・アバド演出によるヴェルディ『シモン・ボッカネグラ（新演出）』と、2024 年 4 月にはチューリッヒ歌劇場でのカールマン『チャールダーシュの女王』を指揮した。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、シュターツカペレ・ベルリン、クリーブランド管弦楽団など、世界有数のオーケストラと定期的に共演。

ローザンヌのフランス系イタリア人の音楽一家に生まれた。リヨンでピアノ、歌、打楽器を学び、ウィーンでゲオルク・マルクの指揮者コースに参加。リスト音楽院でニコラ・パスケに指揮を学び、2015 年のザルツブルク音楽祭ネスレヤングコンダクター賞を受賞。カダケス国際コンクール、ライプツィヒ MDR コンクールなど、数々の権威ある指揮者コンクールで優勝している。2018 年から 2021 年までポルトガル・グルベンキアン管弦楽団の首席指揮者を務めた。2017 年にはロンドンで開催された国際オペラ・アワードで「ニューカマー・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。2018 年には新国立劇場オペラで『トスカ』を指揮した。

資料：ロレンツォ・ヴィオッティと東京交響楽団 演奏会の記録

日時	演奏会名	会場	曲目
2014/07/20 <初共演>	東京オペラシティシリーズ第81回	東京オペラシティコンサートホール	スメタナ：連作交響詩「我が祖国」より「ヴルタヴァ（モルダウ）」 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調（ダーヴィド・ゲリンガス） チャイコフスキー：交響曲 第4番
2016/09/03	東京オペラシティシリーズ第93回	東京オペラシティコンサートホール	ベートーヴェン：交響曲 第4番 R.シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」 組曲 ラヴェル：ラ・ヴァルス
2016/09/04	名曲全集第120回	ミュゼ川崎シンフォニーホール	ベートーヴェン：交響曲 第4番 R.シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」 組曲 ラヴェル：ラ・ヴァルス
2019/01/12	第667 回定期演奏会	サントリーホール	ヴェルディ：レクイエム (森谷真理/清水華澄/福井敬/ジョン・ハオ/東響コーラス)
2019/01/13	名曲全集第144 回	ミュゼ川崎シンフォニーホール	ヴェルディ：レクイエム (森谷真理/清水華澄/福井敬/ジョン・ハオ/東響コーラス)
2019/07/13	東京オペラシティシリーズ第110回	東京オペラシティコンサートホール	ブラームス/シェーンベルク編：ピアノ四重奏曲第1番 ドヴォルザーク：交響曲第7番
2019/07/14	第114 回新潟定期演奏会	りゅーとぴあ新潟市民芸術文化開館	ブラームス/シェーンベルク編：ピアノ四重奏曲第1番 ドヴォルザーク：交響曲第7番
2019/07/15	名曲全集第148 回	ミュゼ川崎シンフォニーホール	ブラームス/シェーンベルク編：ピアノ四重奏曲第1番 ドヴォルザーク：交響曲第7番
2023/09/23	第714回定期演奏会	サントリーホール	ベートーヴェン：交響曲 第3番「英雄」 R.シュトラウス：交響詩 「英雄の生涯」
2023/09/24	第133回 新潟定期演奏会	りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館	ベートーヴェン：交響曲 第3番「英雄」 R.シュトラウス：交響詩 「英雄の生涯」

ロレンツォ・ヴィオッティ プレスキットダウンロード

>>> <https://tokyosymphony.jp/presskit/>

【本件に関するお問合せ】

公益財団法人東京交響楽団広報本部 TEL: 044-520-1518

高瀬 takase@tokyosymphony.com 伊藤 ito@tokyosymphony.com